

# 平成26年度「乳幼児をもつ保護者のための防災学習会」実施状況

## 1. 実施概要

平成26年度は、市町村から実施要望のあった5箇所で開催しました。  
各実施場所の実施概要は以下のとおりです。

No.	実施日時	実施場所・参加者	内 容
1	5月13日(火) 9時30分～	君津市立宮下保育園 (君津市) 保護者68名	(1) 講義(日頃の備え等) (2) 防災ゲーム(ぼうさいダック) (3) 模擬体験(地震体験・煙体験)
2	9月4日(木) 10時～	山武市立日向幼稚園 (山武市) 保護者74名	(1) 講義(家庭における防災対策) (2) 防災ゲーム(ぼうさいダック) (3) 防災ビデオの上映(幼児向け) (4) 応急手当講習(誤飲対策等) (5) 模擬体験(地震体験・煙体験)
3	10月16日(木) 9時30分～	九十九里町立片貝保育所 (九十九里町) 保護者34名	(1) 講義(日頃の備え等) (2) 応急手当講習(誤飲対策等) (3) 防災ビデオの上映(幼児向け) (4) 防災ゲーム(ぼうさいダック) (5) 模擬体験(地震体験・煙体験)



No.	実施日	実施場所・参加者	内容
4	10月25日(土) 10時～	柏市立桜台保育園 (柏市) 保護者37名	(1) 講義(日頃の備え等) (2) 防災ゲーム(ぼうさいダック) (3) 防災ビデオの上映(幼児向け) (4) 模擬体験(煙体験)
5	11月21日(金) 9時45分～	茂原市立中の島幼稚園 (茂原市) 保護者38名	(1) 講義(日頃の備え等) (2) 応急手当講習(誤飲対策等) (3) 防災ビデオの上映(幼児向け) (4) 防災ゲーム(ぼうさいダック)

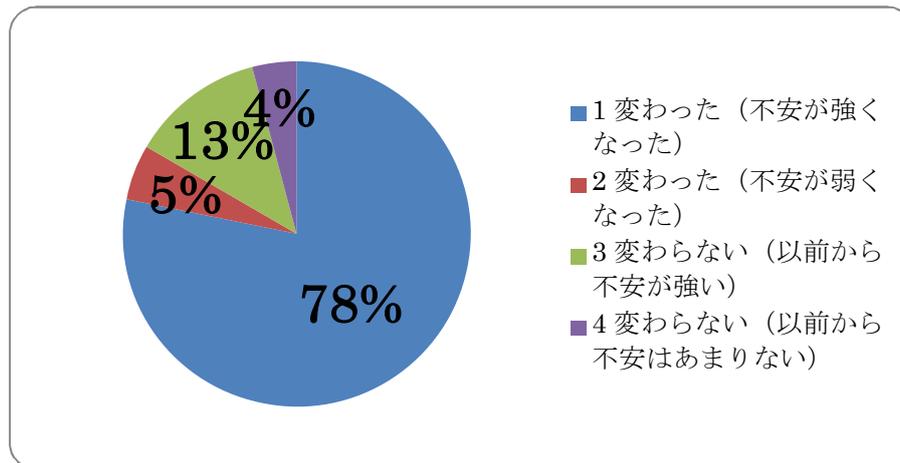


## 2. アンケート結果

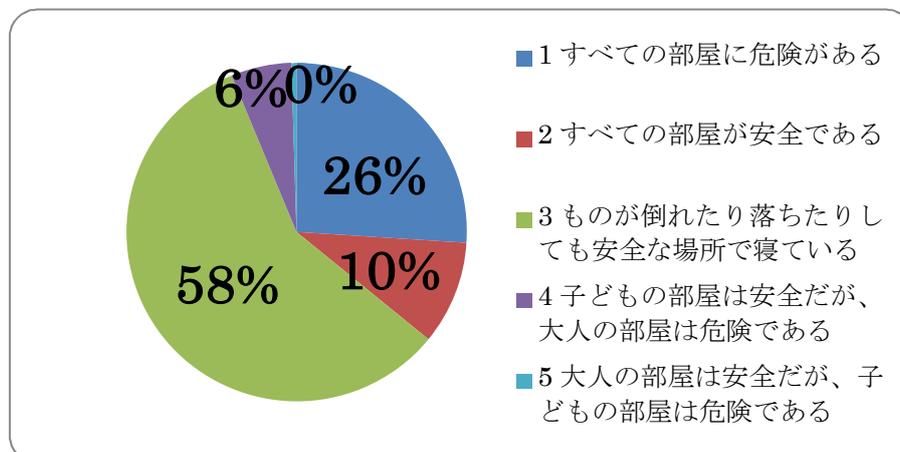
「乳幼児をもつ保護者のための防災学習会」の参加者に対してアンケートを実施し、防災意識の傾向を調べました。

[防災について]

- 1 あなたは、東日本大震災が起きる前と後をくらべて、自分の住んでいる地域で大震災や風水害が起こるのではないかという気持ちに変化がありましたか？



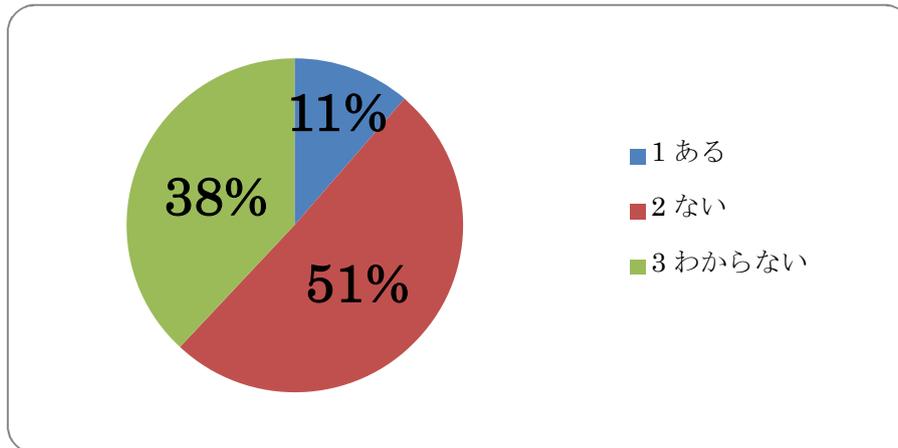
- 2 あなたの家庭では、寝ているときに地震が起こった場合、体の上にもものが倒れてきたり、落ちてきたりする危険はありますか？



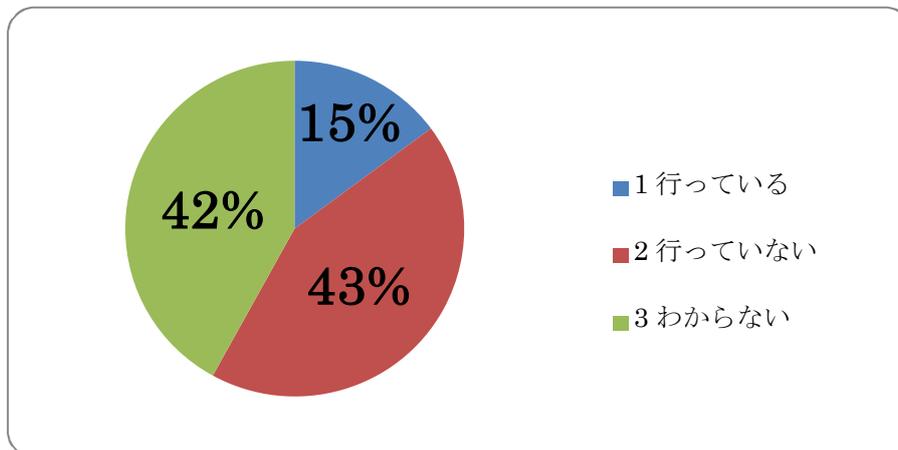
3 昭和 56 年 5 月以前に建築された住宅にお住まいの方にお伺いします。

① 住居の耐震診断を受けたことがありますか？

(昭和 56 年 6 月以降の建物は新耐震基準が適用されています)

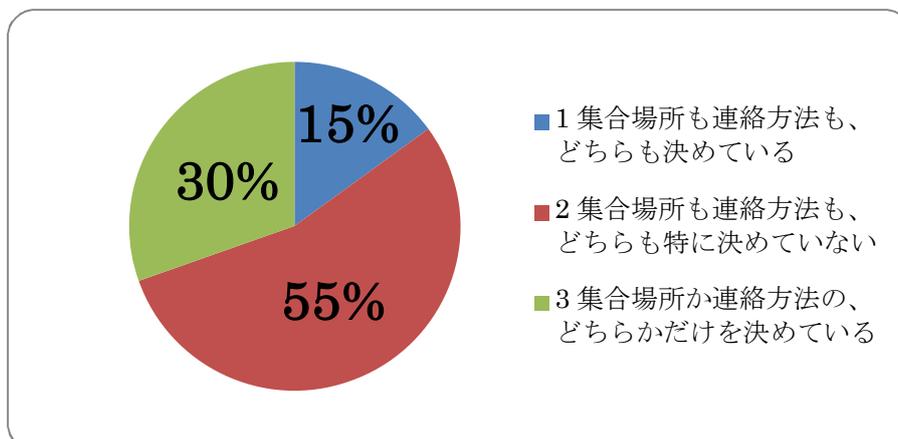


② 住居の耐震補強を行っていますか？

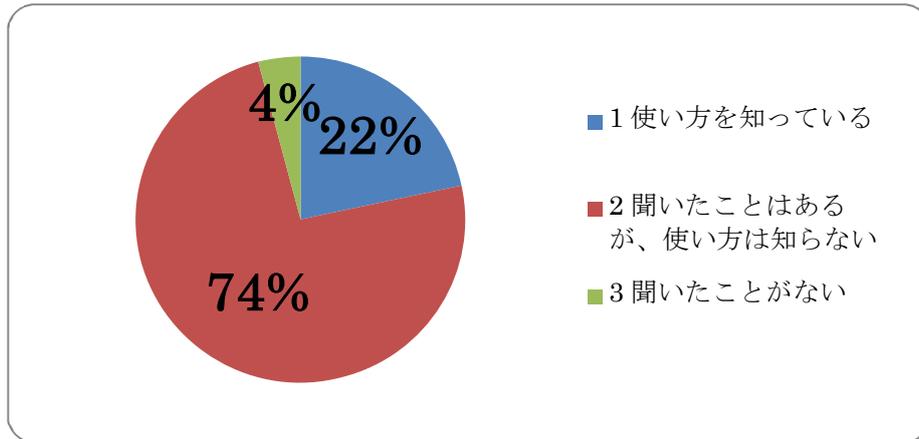


4 東日本大震災の起きた当日は、各交通機関が止まり、遠くに通勤している方は帰宅が困難になりました。また、電話も通話が集中し、つながらなくなりました。

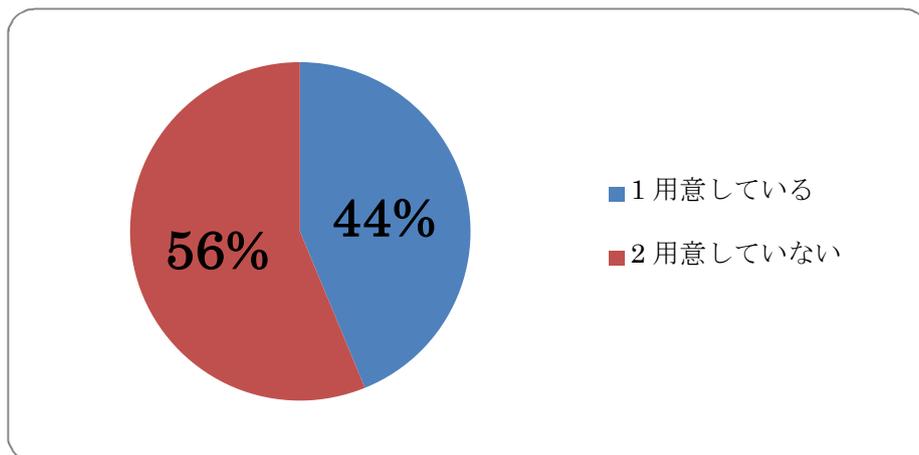
家族と離れている時に災害が起きた場合、集合場所や連絡方法を決めていますか？



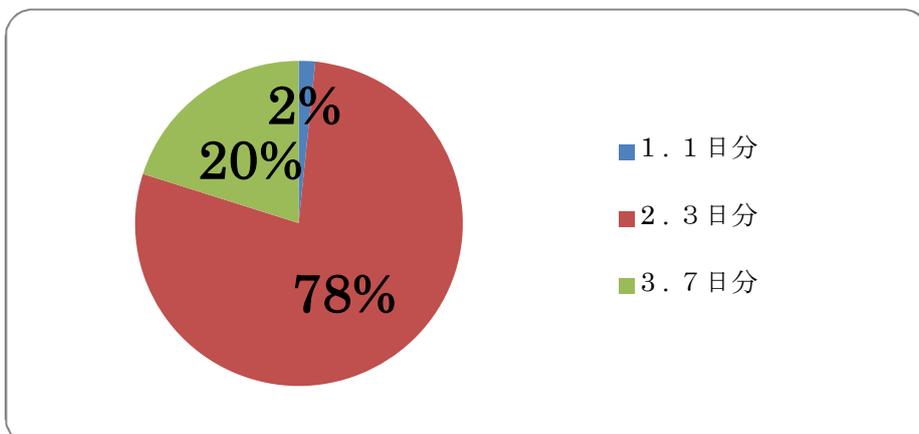
- 5 災害時における家族等との連絡方法として、NTT の災害用伝言ダイヤルや、各携帯電話会社の災害用伝言サービス等がありますが、このことを知っていますか？



- 6 大規模災害が発生すると、あなたの家庭が被災するように、自治体も被災し、すぐには公的機関からの救援が望めない場合があります。  
あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料、日用品、幼児用品などの非常持出品を用意していますか？

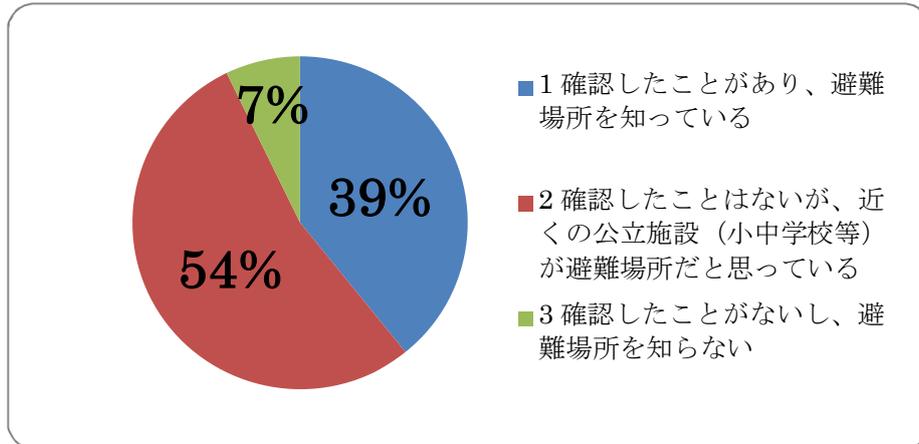


- 7 家庭での非常用備蓄品は、何日分を備えておく必要があると思いますか？



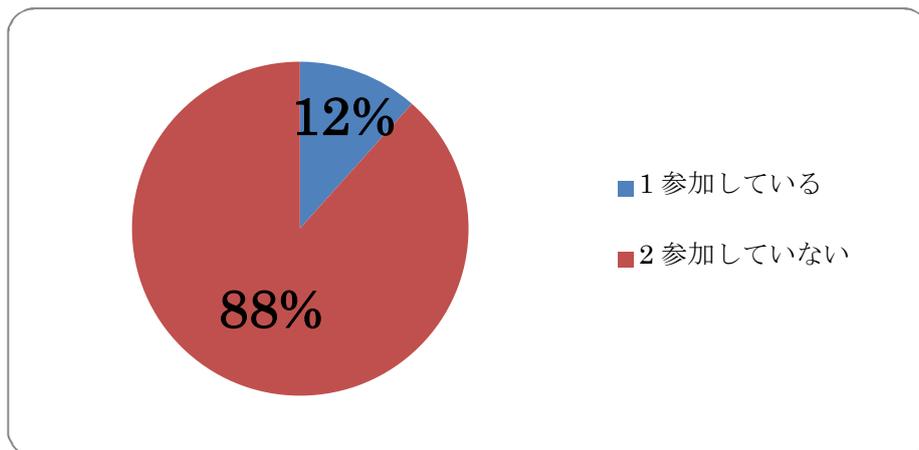
8 居住地周辺の避難場所を、ハザードマップ(※)等で確認したことがありますか？

※ある災害に対して危険な地域を地図上に示し、避難場所等の情報が図示されているもの



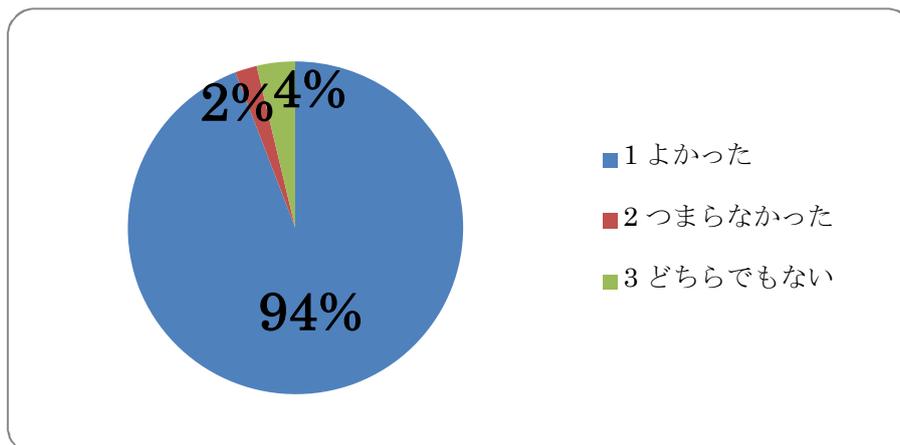
9 東日本大震災では、津波からの避難や救助、避難生活等を通じて、地域住民のつながり、支え合いの大切さが再認識されました。

地域や近隣の人が互いに協力し合い防災活動に取り組む、自主防災組織に参加していますか？

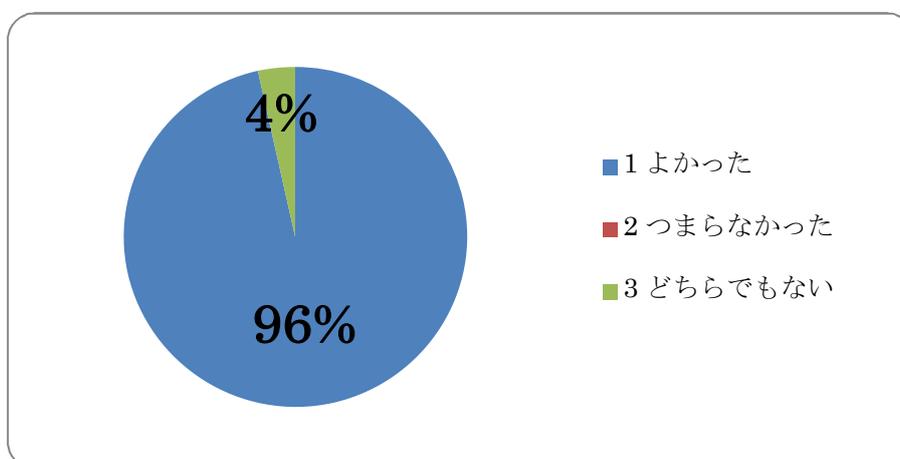


〔防災学習会について〕

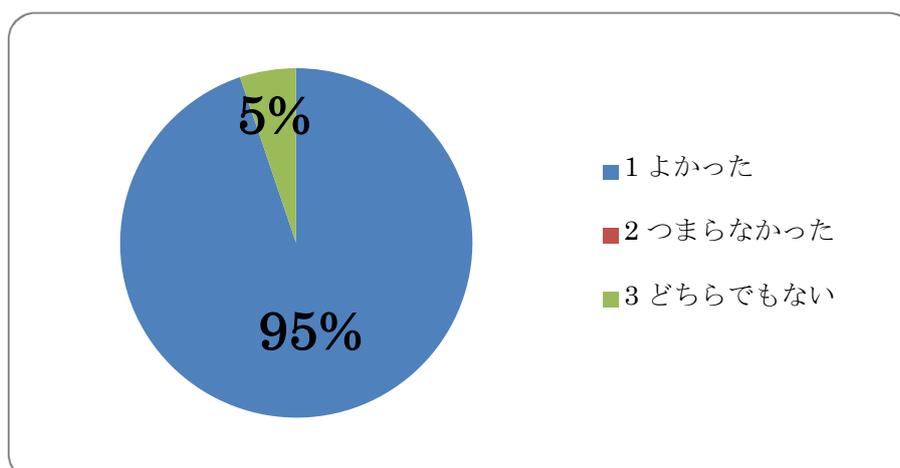
1 防災についての講義



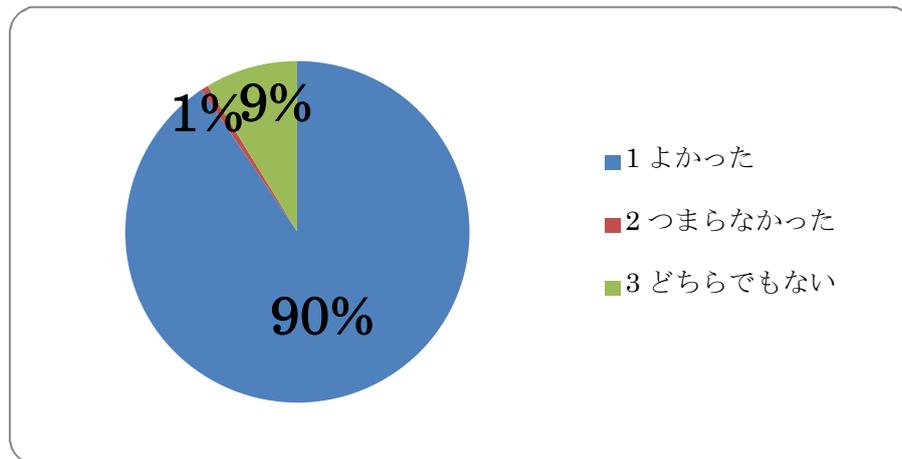
2 応急手当講習



3 模擬体験（起震車）



#### 4 模擬体験（煙体験ハウス）



5 今日の感想や、講座で聞いてみたい・体験してみたいこと、東日本大震災後にあなたが感じたこと、今後すすめたい対策など、ご自由にお書きください（主な回答）。

- ・東日本大震災が起きた後は非常用品の用意をしていたが、時が経つにつれて忘れてしまい、水や非常食の期限を切らしたり、持出品もしまいこんでいた。今回の講義を聞いて、家に帰ったらもう一度用意し直そうと思った。
- ・震災時は自分の備えだけを用意したが、現在は子どもがいるので、子どもの備えをしっかりと用意しなければならないと感じた。一度家族で話し合い、集合場所や連絡方法を決め、万が一の時に困ることがないようにしなければならないと思った。
- ・時とともに少しずつ東日本大震災の記憶が薄れてきていたが、話を聞いて、改めて、怖さを感じ、今まで以上にできる準備をしたり、家族で話し合っておくようにしたいと思った。
- ・最近はいろいろな防災グッズも売っているので、家具の固定など考えてみようと思った。
- ・家族で避難場所の確認等をきちんと決めておこうと思った。避難訓練にも積極的に参加したい。
- ・ご近所間では常に声を掛け合い、交流を深める事は大事と感じた。
- ・応急手当講習では、乳幼児の怪我等の応急手当方法も忘れていたのでとても参考になった。
- ・地震体験車で震度7を体験し、あんなにすごい揺れだとは思わなかった。地震が起きたとき、あの揺れでは子供まで守れるとは思えなかった。
- ・実際に体験することで心構えができた。子どもも煙体験ができて、教えてもらったことをすぐにやってみることができてよかった。
- ・煙体験ハウスでは、見えない恐怖と吸ってはいけない恐怖を体験できとても良かった。子どもたちと落ち着いて行動しようと話し合えた。
- ・体験することにより、よりリアルに考えさせられた。